

第1号議案

2024年事業年度

東北芸術工科大学後援会

事業報告(案)

「2024年事業年度 事業報告(案)」について

1 役員会の開催

○役員体制

役職名	氏名	現職
会長	寒河江 浩二	株式会社山形新聞社 代表取締役会長・主筆
副会長	清野 寿啓	山形パナソニック株式会社 代表取締役社長
幹事	佐藤 英司	株式会社山形銀行 代表取締役頭取
〃	西塚 英樹	株式会社きらやか銀行 代表取締役頭取
〃	松田 正彦	株式会社荘内銀行 代表取締役頭取
〃	阿部 和人	株式会社フロット 代表取締役
〃	富田 浩志	株式会社とみひろ 代表取締役
〃	本間 弘	株式会社本間利雄設計事務所 代表取締役
〃	武田 靖子	株式会社ジョイン 専務取締役
〃	佐藤 洋詩恵	株式会社旅館古窯 取締役社長(女将)
監事	中山 眞一	株式会社塚田会計事務所 代表取締役会長
〃	平井 康博	株式会社ヤマコー 代表取締役社長

任期2年間：2023年1月1日～2024年12月31日

○事務局体制

役職名	氏名	現職
事務局長	野村 真司	東北芸術工科大学 法人企画広報課 シニアアドバイザー
事務局員	矢口 愛恵	東北芸術工科大学 法人企画広報課 嘱託職員

(1) 第1回役員会

日時：2024年2月9日(金) 15:00～15:20／終了後「地学連携懇話会」15:20～16:00

会場：東北芸術工科大学 本館6階 第1会議室

出席者数：9名(代理出席3名含む)

議題：

NO.	審議事項
1	「2023年事業年度 事業報告(案)」について
2	「2023年事業年度 収支決算書(案)」について
NO.	報告事項
1	現在の会員数について
2	卒業／修了研究・制作展「特別内覧会(2/6)」の状況について
3	「30周年記念誌」の発行について
4	薪能の開催(6/10)について

NO.	その他 ●地学連携懇話会
1	「東北芸術工科大学状況報告 ～地域社会・産業界への人材輩出状況」について

(2) 第2回役員会

日時:2024年12月19日(木) 15:00~15:20/終了後「地学連携懇話会」 15:20~15:55

会場:東北芸術工科大学 本館6階 第1会議室

出席者数:12名(代理出席6名含む)

議題:

NO.	審議事項
1	「役員改選(案)」について
2	「2024年事業年度 補正予算(案)」について
3	「2025年事業年度 事業計画(案)」について
4	「2025年事業年度 予算(案)」について
NO.	報告事項
1	入会予定会員について
2	次回役員会開催日時について
NO.	その他 ●地学連携懇話会
1	「地元地域社会で活躍できる人材育成へのご参画」について



「役員会」の様子:第1回(左)/第2回(右)



「地学連携懇話会」の様子:第1回(左)/第2回(右)

2 大学の教育及び研究活動に対する支援事業

① 卒業／修了制作展への支援

本学の外部団体(保護者会／卒業生後援会／校友会)同様、実施・運営面での支援を行った。大学後援会からは「ガイドペーパー」製作費用の一部を助成し、後援会ロゴを掲載した。



② 卒業／修了制作展での「特別内覧会」の開催

後援会会員を対象に、以下により美術科及び工芸デザイン学科の教員がナビゲーターとなり、卒業／修了制作展の概要説明及び作品鑑賞ツアーを行った。

- ・開催日時： 2024年 2月 6日(火) 14:00～16:00
- ・開催場所： 東北芸術工科大学 芸術実習棟・アトリエ棟ほか
- ・案内教員： 木原副学長、青山美術科長、深井大学院芸術文化専攻長ほか
- ・参加者数： 22社 44名



「特別内覧会」の様子：概要説明(上)／作品鑑賞ツアー(右・下)

3 大学が保有する教育・研究シーズの活用事業の実施

① 会員対象セミナーの開催

会員を対象に、本学教員と会員企業講師により、本学講義室にて「ウェルビーイング」及び「周年プロジェクト成功の秘訣」をテーマに、セミナーを2回開催した。

第1回 6月セミナー／対面	
開催日時	2024年6月25日(火) 17:30~19:00
講師	デザイン工学部 コミュニティデザイン学科 准教授 矢部寛明 氏
テーマ	職場、家庭で使える！？ ウェルビーイング入門 ～今さら聞けないウェルビーイングの話～
内容	<p>ウェルビーイングとは、世界保健機関によると身体的・精神的・社会的に「良い状態」を表す言葉とされています。そんなウェルビーイングは、近年注目を集めています。ウェルビーイング経営を意識した企業も増えてきているようです。</p> <p>本セミナーでは、ウェルビーイング入門として、基礎的な知識を中心に職場やご家庭で使える知識を盛り込んでお伝えします。</p>
参加者数	18名
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・企業経営で一番大切にしていることが心の健康であるので、納得すること、再確認することが多かった。 ・ウェルビーイングへの知識や意識が不十分だと感じた。生活の中で意識して自己成長につなげたい。

東北芸術工科大学後援会 在員セミナー
**職場、家庭で使える！？
ウェルビーイング入門**
～今さら聞けないウェルビーイングの話～
講師 ● 東北芸術工科大学 デザイン工学部
コミュニティデザイン学科 准教授
矢部 寛明
日時
6/25 [火] 17:30-19:00
会場
東北芸術工科大学
本学2号館3号館(3F) 対面講義室 (要予約)
17:15まで、後援会事務局へお申し込みください
東北芸術工科大学後援会 在員セミナー
ウェルビーイングとは何ぞい？と聞かれることがあります。ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に「良い状態」を表す言葉とされています。そんなウェルビーイングは、近年注目を集めています。ウェルビーイング経営を意識した企業も増えてきているようです。
本セミナーでは、ウェルビーイング入門として、基礎的な知識を中心に職場やご家庭で使える知識を盛り込んでお伝えします。

矢部 寛明 (准教授)
東北芸術工科大学 デザイン工学部 コミュニティデザイン学科 准教授
2011年博士(工学)取得。東北芸術工科大学 デザイン工学部 コミュニティデザイン学科 准教授。2015年現在、東北芸術工科大学 デザイン工学部 コミュニティデザイン学科 准教授。2015年現在、東北芸術工科大学 デザイン工学部 コミュニティデザイン学科 准教授。

東北芸術工科大学 後援会事務局

第2回 12月セミナー／対面	
開催日時	2024年12月3日(火) 18:00~19:00
講師	株式会社でん六 執行役員 経営企画室 室長 (兼)海外事業マネジメント 田中篤士 氏
テーマ	周年プロジェクト成功の秘訣 -でん六の産学連携事業戦略-
内容	<p>山形には創業100年を超える老舗企業が数多く存在します。「周年」は組織の大きな節目となるだけでなく、飛躍の大きなチャンスです。しかし、悩みや課題を抱える経営者や担当者が多いのが実情です。</p> <p>でん六は今年で100周年を迎えました。でん六創業100周年事業を成功させるための戦略はどのようなものだったのか？ 活動成果や結果を通して「芸工大と連携する意義」を考えます。</p>
参加者数	42名
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・周年事業がとても素晴らしいものだったので、そこに携わるプロジェクトメンバー、芸工大の学生さんの役割も知れて、とても興味深かったです。産学連携のメリットと成果が良くわかりました。 ・プロジェクトの進め方やブランディングを考える一方通行にならない動き、地域の大学との連携メリットが非常にわかりやすかった。

東北芸術工科大学後援会 12月セミナー
周年プロジェクト成功の秘訣
-でん六の産学連携事業戦略-
講師 ● 株式会社でん六
執行役員 経営企画室 室長
(兼) 海外事業マネジメント
田中 篤士
日時
12/3 [火] 18:00-19:00
会場
東北芸術工科大学
本学2号館3号館 対面講義室 (要予約)
17:15まで、後援会事務局へお申し込みください
東北芸術工科大学後援会 在員セミナー

山形には創業100年を超える老舗企業が数多く存在します。「周年」は組織の大きな節目となるだけでなく、飛躍の大きなチャンスです。しかし、悩みや課題を抱える経営者や担当者が多いのが実情です。
でん六は今年で100周年を迎えました。でん六創業100周年事業を成功させるための戦略はどのようなものだったのか？ 活動成果や結果を通して「芸工大と連携する意義」を考えます。

田中 篤士 (室長、MBA)
株式会社でん六 執行役員 経営企画室 室長 (兼) 海外事業マネジメント
山形県山形市出身。1978年に山形県立山形高等学校卒業。1999年に、東北芸術工科大学 経営学部に入学。卒業後、株式会社でん六に入社。2003年に、経営企画室 室長に就任。2015年に、海外事業マネジメントに就任。2018年に、海外事業マネジメントに就任。2021年に、海外事業マネジメントに就任。2024年に、海外事業マネジメントに就任。

東北芸術工科大学 後援会事務局
TEL: 023-627-2219 FAX: 0120-40-5406 MAIL: info@denroku.ac.jp

② 山形再発見ツアーの開催

芸工大の教員が専門分野からみた山形の魅力を掘り起こし、地元の魅力を発見するためのバスツアーを開催した。歴史遺産学科(建築史家)の志村直愛教授がナビゲーターとなり、「擬洋風建築」をバスで巡った。

建築史家 志村直愛教授と巡る 山形「近代洋風建築」バスツアー	
開催日時	2024年10月5日(土) 13:00~17:00
ナビゲーター	芸術学部 歴史遺産学科 志村直愛 教授
みどころ	我が国の文明開化期に、欧米から流入した西洋文化と日本の伝統技術が最初に融合した不思議な近代建築「擬洋風建築」は、三島通庸県令の西洋化政策に基づき、県内で数多く建てられました。令和に至っても現存する事例が多いここ山形で、今に開化の香りを伝えるこれらの建築を、バスツアーで巡ります。
コース行程	①旧東村山郡役所 県指定重要文化財/天童市 ②旧西村山郡役所 県指定重要文化財(寒河江市郷土館) ③旧西村山郡会議事堂 県指定重要文化財 /寒河江市 ④旧済生館本館 県指定重要文化財(山形市郷土館)
参加者数	13名(会員5名・歴史遺産学科学生8名)
参加者の声	・志村教授の精力的で丁寧な説明は、説得力があり感心しました。山形に住んでいても、知らないことが多いことが良くわかりました。 ・身近にある歴史建築がどのような経緯で建てられたか、移設されたかを知ることが出来ました。擬洋風建築は貴重な建築物なので、今後どのようにして後世に継げるか考える良い機会になりました。



参加会員と志村教授:(上)/ツアーの最後に旧済生館本館前で記念撮影:(下)

4 大学との交流事業

① 会報「おむすび」の発行

本学卒業生が活躍している会員企業を選び、編集作業は文芸学科の演習の一環として学生が主体となり、フロット・ローカルブライト・高橋畜産食肉・進和ラベル印刷の4社取材した。

第17号	
発行日	2024年8月31日
規格	A4版4色12ページ
発行部数	2,000部
内容	<p>◎特集1:後援会会員探訪 ④ 社員一人ひとりに「F」がある。 【株式会社フロット(山形市)】 印刷にこだわらず お客様の課題解決をしていく会社へ</p> <p>◎特集2:卒業生に聞く ④ 人として大切なことを突き詰めていく。 【株式会社ローカルブライト(村山市)】 高野拓也さん/中村香穂さん 相手にいい影響を与えられる人になる</p>



第18号		
発行日	2024年12月25日	
規格	A4版4色12ページ	
発行部数	2,000部	
内容	<p>◎特集1:後援会会員探訪 ⑤ 和牛のおいしさを もっと世界に。 【高橋畜産食肉株式会社(山形市)】 飼育から販売まで、すべてをこなす肉屋の未来</p> <p>◎特集2:卒業生に聞く ⑤ ラベルの変革期を先導する会社へ。 【進和ラベル印刷株式会社(上市市)】 湯口洋輔さん/大沼道郎さん/平尾光星さん 山形から世界へ、ラベルの魅力を発信する</p>	

② 大学関係者との交流会開催

大学関係者との交流会を、5年ぶりに「新能」開演前に開催した。交流会では、根岸理事長の挨拶に続き、清野副会長の乾杯の発声があり、和やかな雰囲気の中で懇談が行われた。

後援会企業等と東北芸術工科大学との交流会		
開催日時	2024年6月10日(月) 16:00~17:00	
開会挨拶	根岸吉太郎 理事長	
乾杯	清野寿啓 副会長	
閉会挨拶	中山ダイスケ 学長	
参加者数	106名(会員82名・大学関係者24名)	
参加者の声	<p>・テーブルを指定して、一定時間ごとに組み合わせを変える方式もありかと思います。完全フリーもよいのですが、知らない人に声をかけるのは少しエネルギーが必要です。最初の20分程度、強制的な出会いがあってもよいのではないのでしょうか。</p> <p>・帰る際の駐車場出口での交通整理が必要</p> <p>・このような素晴らしい機会にお招きいただき大変感謝しております。ありがとうございました。</p> <p>・皆様の大学愛を感じる会でした。参加させていただき、ありがとうございました。</p> <p>・交流会に初めて参加させていただきました。御校の地元に対する熱い思いを感じる大いに沸いた交流会と、かがり火が灯された幻想的な空間の中で初めての能鑑賞と貴重な体験し、大変感動いたしました。このような機会をいただき、大変嬉しく思います。</p>	